

愛媛県歴史文化博物館

No.62

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

特別展

水木しげると ゲゲゲの鬼太郎

—妖怪道五十三次—

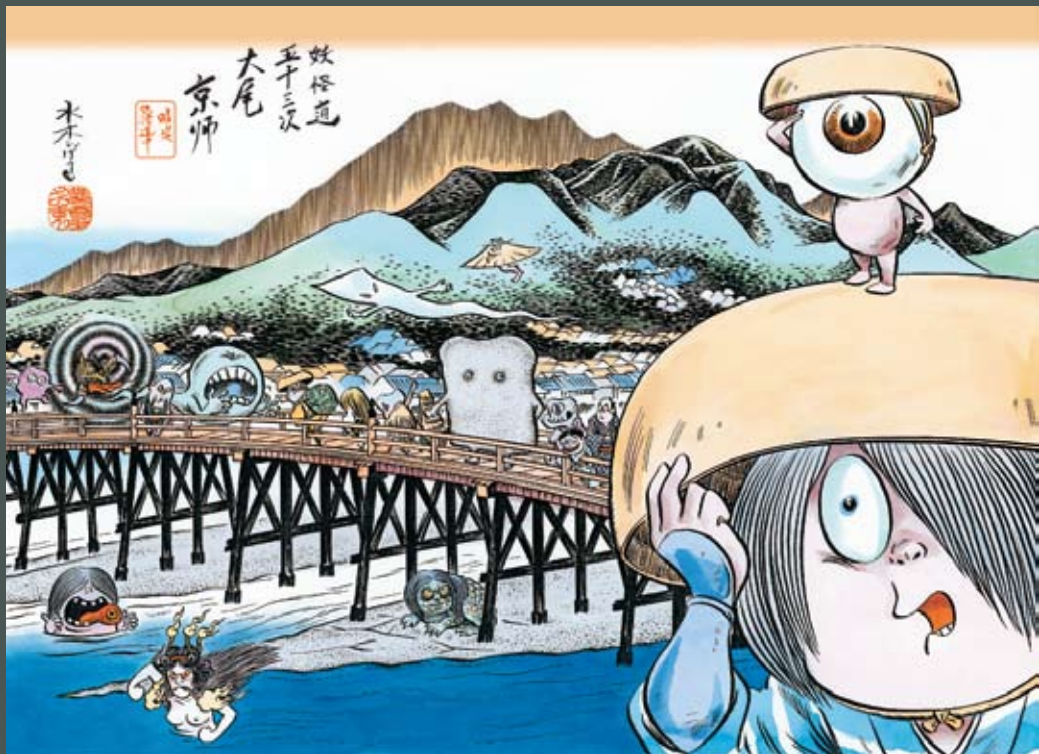
平成22年7月10日[土]—9月5日[日]

開館時間／午前9時～午後5時30分(入館は閉館の30分前まで)
休館日／7月12日[月](夏休み期間中は無休)
主催／愛媛県歴史文化博物館
協力／(株)水木プロダクション・(株)やのまん
観覧料／大人500円 65歳以上・小中学生250円

「ゲゲゲの鬼太郎」は子供から大人まで、誰でも知っている漫画で大活躍のキャラクターです。そんな鬼太郎とその仲間の妖怪たちを皆さんは、どのくらいご存知ですか？作者の水木しげる先生は、江戸時代の有名な浮世絵師である歌川広重の「東海道五十三次」の旅情風景を、妖怪たちが旅したらどうなるか、との思いから「妖怪道五十三次」という作品を作りました。今回の展示会では、水木しげる先生の人生を紹介するとともに、江戸から京都までの各宿場に鬼太郎をはじめ、目玉おやじ、ねずみ男など300体以上にも及ぶ、さまざまな日本の妖怪が登場する「妖怪道五十三次」などを展示紹介します。また、当館所蔵の「百鬼夜行絵巻」など妖怪の歴史にまつわる資料も同時に展示するとともに、妖怪に関するさまざまなイベントを開催しますので、夏休みに家族連れでご来館ください。



妖怪道五十三次 「日本橋」首途の景 ©水木プロ



妖怪道五十三次 「京都」晴姿妖怪道中 ©水木プロ

関連講座 ※要申込

「水木しげるの歩んだ昭和」

日時/7月24日[土] 13:30～

講師/大本敬久(当館学芸員)

「妖怪のひみつ—鬼太郎と愛媛の妖怪—」

日時/8月28日[土] 13:30～

講師/大本敬久(当館学芸員)

※申込方法は本紙4ページをご確認ください。

民俗

下波の伊勢踊り

年代 平成6(1994)年
 サイズ 高さ175cm
 所蔵 当館蔵

「伊勢踊り」は慶長19(1614)年に伊勢地方で流行した風流踊が全国に広がったものといわれています。伊予国には寛永(1624~43)年間に土佐国(高知県)から宇和郡に伝わり、宇和島初代藩主伊達秀宗が保護し、各地に伊勢神を祀る神明社が建立されました。このため、伊勢踊りは愛媛県内でも旧宇和島領内に多く伝わっています。なお、「ヨーイトコセ、ヨーイヤナ」の囃しの「伊勢音頭」は西条市をはじめ県内各地に見られますが、「伊勢踊り」より後の時代に流行した別のものです。

さて、伊勢踊りには除災の力があるとされ、各地の神社で病人祈祷や厄払いの際に奉納されました。現在でも伊方町



二名津では春祭に厄年の者の厄除けのために伊勢踊りが演じられます。八幡浜市穴井では明和2(1765)年から正月から欠かさず行われ、老人による長命祈願の組織「長命講」により継承されています。写真は宇和島市下波の伊勢踊りです。ここでは小学生男子(少子化のため現在は女子も参加)が花笠を被り、女性の衣裳を着て扇や御幣を持って、歌と太鼓に合わせて踊ります。毎年9月16日に神明神社で豊漁祈願のために奉納されます。このように奉納目的は様々となっていますが、江戸時代初期~中期にまで遡る歴史のある民俗芸能といえます。

(専門学芸員 大本敬久)

民俗

中務茂兵衛建立の遍路道標

この石造物は、四国八十八ヶ所霊場第51番札所石手寺(松山市)から52番太山寺へ行く遍路道の道後上市橋のたもとに建てられていた道標です。正面に「(指印)太山寺道 是ヨリ六十七丁余」、右面に「中務氏先祖代々 明治廿一年戊子五月吉辰建之」、左面に「左松山 壹百度目為供養 周防国大島郡棕野村 施主 中務茂兵衛 義教」、裏面に「うま禮来天能古留茂の登天石は可里 我身八消へし無可志な里希り」とあります。それによると、太山寺道までは約7km弱(1丁は約109m)、明治21(1888)年5月、四国遍路100度目の記念と先祖供養として、周防国大島郡棕野村(現山口県周防大島町)の中務茂兵衛(1845~1922、本名は龜

吉、法名は義教)が建てたものだとわかります。

親兄弟に結婚を反対されたことがきっかけで、故郷を捨て生涯を遍路に身を投じた茂兵衛は、江戸時代末期から大正期にかけて四国遍路を280回も歩いて巡拝し、各地に道標を建てるなど、人々に「生き仏」として慕われました。現在確認されている茂兵衛の遍路道標は、四国内に237基あります。「うまれきて…」の添歌は、道標の建立に生涯を捧げた茂兵衛の心境を見事にあらわしています。本資料は、明治維新後の文明開化や廃仏毀釈という激動の荒波の中で、近代四国遍路の発展、遍路道の整備に多大な貢献をした茂兵衛の足跡を物語る貴重な資料といえます。



↑正面



→左面

年代 明治21(1888)年
 サイズ 縦23.5cm 横23.5cm 高135cm
 所蔵 当館蔵

(専門学芸員 今村賢司)

*「下波の伊勢踊り」は、民俗展示室1に展示しています。

*「中務茂兵衛建立の遍路道標」は民俗展示室3に展示しています。

特別展

「水木しげるとゲゲゲの鬼太郎 -妖怪道五十三次-」

関連イベントのご案内

NHK 連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」パネル展

日時／7月17日(土)～8月15日(日) 9:00～17:30

内容／番組のあらすじや人物関係図、撮影風景等が写真パネルで登場！

観覧料／無料 場所／エントランスホール

①

講談「怪談二人会」

日時／8月7日(土) ①14:00～、②18:00～ (※受付は各回1時間前より開始します。)

入場料／500円 事前申込不要・各回先着300名(特別・常設展共通観覧券をお持ちの方は無料)

出演者紹介

ただし当日券に限る

室井 駿之介 「妖怪大行進」

一龍齋 貞山 「牡丹灯籠」



【プロフィール】

水木しげると暮し、アシスタント第一号となった故田辺一鶴の弟子。史上最年少の9歳で田辺チビ鶴としてデビュー。ゲゲゲの鬼太郎にちなんだちょっとおかしな妖怪話をお楽しみに！



【プロフィール】

怪談といえば一龍齋。講談界での大名跡を継ぐ八代目・一龍齋貞山。実父で“お化けの貞山”と異名をとった先代七代目を継ぐ、真打の名人芸を満喫ください。本当にこわいですよ…。

②

れきはく お化け屋敷

ひゅうううどろどろどろ～

期間限定!! れきはくお化け屋敷が始まるよ!

日時／7月17日(土)～8月31日(火) 10:00～16:00

※入場には特別・常設展共通観覧券が必要です。(ただし当日券に限る)

③



こども歴史館
からのお知らせ

こども歴史館は、夏休み期間中は「お化け屋敷」に変身します！

お化け屋敷の開催中を含め、準備・片づけの為、下記の期間は閉室します。ご了承ください。

6月28日(月)～9月3日(金)



れきはくのあしあと

「れきはく特別展&ゴールデンウィークイベント」を終えて

平成22年5月1日～5月5日の5日間、れきはくでは特別展「見て・ふれて・楽しもう！ダンボールの博物館」にちなんで各種イベントを実施しました。

1日・2日に行った「みんなでつくろう！ダンボールで巨大こいのぼり」では、ダンボールクリエイター岡村剛一郎さんが制作したこいのぼりの骨組みに、参加者が絵を描いたうろこ計239枚がつけました。うろこの一枚一枚に参加者の思いが詰まった素晴らしい作品が出来上がりました。

「ダンボールのおもちゃをつくろう！」のコーナーでは、ハサミやのりを使わないダンボールキットを用いて、たくさんの方が楽しくおもちゃ作りを体験されました。仕上がった作品を大事そうに持ちながら、展示室を回るお子さんの姿をたくさん見かけました。

また、体験型学習室こども歴史館では、よろいかぶとの着付け体験を実施したところ、大変好評でした。

5日間で12,391名の方にご来館いただきました。たくさんの皆さまのご来館、誠にありがとうございました。



歴史文化講座

歴史・文書講座 13:30 ~ 15:00

- 講座番号 ① 「大般若経からみた中世南予の文化②
—城川町長善寺を中心に—
日 時：7月15日(木)
講 師：山本信吉(当館名誉館長)
- 講座番号 ③ 「幕末維新期の文書を読む①」
日 時：8月1日(日)
講 師：井上淳(当館学芸員)
- 「幕末維新期の文書を読む②」
日 時：9月12日(日)
講 師：藤田正(当館学芸課長)

民俗講座 13:30 ~ 15:00

- 講座番号 ① 「水木しげるの歩んだ昭和」
日 時：7月24日(土)
講 師：大本敬久(当館学芸員)
- 講座番号 ② 「妖怪のひみつ—鬼太郎と愛媛の妖怪—」
日 時：8月28日(土)
講 師：大本敬久(当館学芸員)

体験講座

- 講座番号 ③ 「卯之町中町を歩こう」(松山発・定員30名)
日 時：7月10日(土) 8:30 ~ 17:30
参加費：3,000円程度(交通費・昼食代込)
- 講座番号 ④ 「布ぞうりをつくってみよう」(定員20名)
日 時：7月25日(日) 13:30 ~ 15:30
講 師：宇都宮美紀(当館学芸員)
材料費：800円程度
- 講座番号 ⑤ 「ガラス玉をつくってみよう」
(小・中学生対象 定員20名)
日 時：8月21日(土) 13:30 ~ 15:30
講 師：当館学芸員
材料費：800円程度(保険料込)
- 講座番号 ⑥ 「琥珀の勾玉をつくってみよう」
(小・中学生対象 定員20名)
日 時：8月22日(日) 13:30 ~ 15:30
講 師：当館学芸員
材料費：1,000円程度(保険料込)
- 講座番号 ⑦ 「昔の鏡をつくってみよう」
(小・中学生対象 定員20名)
日 時：8月29日(日) 13:30 ~ 15:30
講 師：亀井英希(当館学芸員)
材料費：600円程度(保険料込)

【各講座の申込方法】

希望する講座番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座は2週間前)までにはがきなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ：企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

◆展示スケジュール 2010.6 - 2011.3◆



※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【臨時休館のお知らせ】 6/22 火、23 水

博物館では、年に1回、収蔵資料をかびや害虫から守るため、くん蒸(虫・菌の防除)を行っています。

夏休みは毎日開館しています!

7月13日(火) ~ 8月31日(火)

は休まず開館しております。

※8月7日(土)・8日(日) ナイトミュージアムを実施します!(午後9時まで開館)

ご利用案内

- 開館時間 9:00 ~ 17:30(入館は17:00まで)
- 休 館 日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観 覧 料

	区分	一般		団体
		小・中学生	大人(高校生以上)	65歳以上
常設展 テーマ展	小・中学生	無料	無料	無料
	大人(高校生以上)	500円	400円	
	65歳以上	250円	200円	

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。
※団体は20名以上です。

Museum Calendar 2010.6-8 休館日 ★ナイトミュージアム夏休みイベント

6月						7月						8月					
日	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金
		1	2	3	4			1	2	3		1	2	3	4	5	6
6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			25	26	27	28	29	30	28	29	30	31		

愛媛県歴史文化博物館

MUSEUM OF EHIME HISTORY AND CULTURE
管理運営：指定管理者 イヨテツ ケーターサービス株式会社
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話：0894-62-6222

●発行日 平成22年6月1日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館